

(電子入札システム利用)

工事費内訳書について

○工事費内訳書の様式及び内容等

工事費内訳書の様式について

様式は、任意の様式で結構ですが、工事費内訳書の表紙のタイトルは、必ず「工事費内訳書」としてください。稀に、見積書の様式を使用し、表紙が見積書のままの場合がありますが、見積書を使用の際は、必ず見積書のタイトルを二重線で取り消し、訂正願います。

工事費内訳書の内容について

入札金額の内訳として、材料費、労務費及び当該公共工事に従事する労働者による適正な施工を確保するために必要な経費として国土交通省令で定めるものその他当該公共工事の施工のために必要な経費の内訳の記載（別添 参考例のとおり）が必要となります。

工事費内訳書の記載内容は、科目及び細目とし、数量、単価、金額等を明らかにして下さい。細かく科目毎の一式に対する内訳を必要とします。

また、工事費内訳書には、商号又は名称並びに住所及び工事名を記載して下さい。なお、社印及び代表者印の押印は不要です。

※ 紙により入札に参加する場合

工事費内訳書には、商号又は名称並びに住所及び工事名を記載するとともに、社印及び代表者印を押印して下さい。

工事費内訳書は表封筒と入札書を入れた中封筒の間に入れて、表封筒及び中封筒に各々封緘をして提出してください。各々封筒には、競争加入者の氏名（法人にあっては、その名称又は商号）及び工事名称を表記して下さい。

(注意事項)

入札後、落札業者が不良・不適格な業者と疑われるに至った場合又は当該工事において談合があると疑うに足りる事実があると認められた場合には、必要に応じ工事費内訳書を公正取引委員会に提出する。